

ゆずり葉の唄

年末になると東京は深川、山口政五郎さんを訪ねた。江戸町火消の伝統を引き継ぐその人で、二番組内千組の組頭である。全身に彫り物(文身)をまとった、生粋の裨纏姿はそれこそ逸品で惚れ込んだ。

年に一度のご挨拶で、山口さんの手になる正月用の玉飾り(しめ縄飾り)を求めた。稲藁や茅でつくったしめ縄土台に、松・裏白・ゆずり葉・昆布・橙などをつけて飾り付けた縦長のそれをご存じであろう。橙は「代々」昆布は「子孫繁栄」裏白(うらじろ)はシダの仲間葉の裏側が白いことから「清浄」「長命」。そしてゆずり葉(譲り葉)にはこんな詩がある。旧仮名遣いだが、一部抜粋したい。

子供たちよ。

これは譲り葉の木です。

この譲り葉は

新しい葉が出来ると

入り代つてふるい葉が落ちてしまふのです。

世のお父さん、お母さんたちは

何一つ持つてゆかない。

みんなお前たちに譲つてゆくために

いのちあるもの、よいもの、美しいものを

一生懸命に造つてゐます。

今、お前たちは気が附かないけれど

ひとりでいのちは延びる。

鳥のやうにうたひ、花のやうに笑つてゐる間に

気が附いてきます。

そしたら子供たちよ

もう一度譲り葉の木の下に立つて

譲り葉を見る時が来るでせう。

(河井醉茗「ゆずり葉」)

年が明けた。重苦しい春である。子らの、明るい声が聞きたい。この子らに何を残せるのか。愚かな大人たちよ。

「新聞に載らない内緒話」 <http://www.nikkansports.com/general/column/naisyo/news/>

※上記のHP(ホームページ)からの原稿の転載はご遠慮ください。

朝日だよりの掲載は、今回をもちまして、終了とさせていただきます<(_)>
長い間ご愛読頂き誠にありがとうございます
ございます。今後とも、当ASAを
どうぞ宜しくお願い致します。

(↓ 今月号の答え ↓)

1	6	4	8	2	7	9	3	5
3	9	8	6	4	5	2	7	1
7	2	5	9	3	1	6	8	4
6	8	9	7	5	2	4	1	3
5	3	2	1	6	4	8	9	7
4	7	1	3	9	8	5	6	2
8	5	7	4	1	6	3	2	9
2	1	3	5	8	9	7	4	6
9	4	6	2	7	3	1	5	8

→	敵	冬	季	節	風	花	形	態
学	歴	社	会	話	文	学	模	
見	学	入	試	運	転	部	写	
倒	大	相	伝	受	校	屋	真	
面	医	子	生	験	生	代	機	
書	科	一	画	線	命	表	械	
明	外	着	操	体	一	裏	化	
証	定	認	確	人	本	台	粧	

5 + 9 = 14

力戦奮闘